



2021年度 大川賞受賞者

受賞理由

コンピュータネットワークのモデル化及び性能評価をはじめとする基礎研究とその普及、推進における多大な貢献

宮原 秀夫 博士

現 職 大阪大学 元総長 名誉教授
一般財団法人アジア太平洋研究所 理事・所長
一般社団法人ナレッジキャピタル 代表理事
西日本旅客鉄道株式会社 社外取締役
大阪ガス株式会社 社外取締役

学 位 工学博士(1973年、大阪大学)

生 年 月 日 1943年6月21日

略 歴 1972年 大阪大学 大学院 工学研究科 博士課程
学位修得退学
1973年 京都大学 工学部 助手
1980年 大阪大学 基礎工学部 助教授
1983年 IBMトーマス・J・ワトソン研究所 客員研究員
1989年 大阪大学 基礎工学部 教授
1995年 同 大型計算機センター長
1998年 同 大学院基礎工学研究科長・基礎工学部長
2000年 同 留学生センター長
2002年 同 情報科学研究科 教授・研究科長
2003年 同 総長
2007年 地球環境センター 理事長
2007年 情報通信研究機構 理事長
2011年～ アジア太平洋研究所 理事・所長
2012年～ ナレッジキャピタル 代表理事
2013年～ 大阪大学 大学院 情報科学研究科 特任教授、
現在招へい教授
2013年～ 西日本旅客鉄道 社外取締役
2013年～ 大阪ガス 社外取締役

主な受賞歴 1997年 通商産業大臣賞
1999年 電子情報通信学会 業績賞
2002年 エリクソン・テレコミュニケーション・アワード
2003年 総務大臣表彰
2008年 電子情報通信学会 功績賞
2013年 NHK 放送文化賞
2015年 高柳健次郎財団 高柳健次郎賞
他 IEEE ライフフェロー、情報処理学会フェロー、
電子情報通信学会フェロー・名誉員 等

主な業績

宮原秀夫博士は1972年大阪大学 大学院 工学研究科 博士課程を学位修得退学後、同大学において工学博士号を取得、1987年同大学の大型計算機センター教授に昇任、基礎工学部、大学院 基礎工学研究科、大学院 情報科学研究科の教授、学部長、研究科長等を経て2003年大阪大学 総長に就任された。その後、情報通信研究機構 理事長を経て、現在は関西にあるシンクタンクであるアジア太平洋研究所の所長をつとめられている。

宮原博士はARPANETプロジェクトの黎明期においてインターネットにおける回線交換技術に対するパケット交換技術の優位性を理論的に証明されるなど、コンピュータネットワークのモデル化と性能評価を学問領域として確立され、それを基礎理論としたネットワーク設計手法を構築することによって、コンピュータネットワークの実用化に大きな道を拓かれた。また、情報通信基盤としてのコンピュータネットワークのあり方を示すだけでなく、新しいコミュニケーション手段としてのコンピュータ通信の可能性にいち早く着目され、コンピュータネットワークを有効に活用する分散マルチメディアアプリケーションの研究、開発をあわせて推進してこられた。

ATMの研究においては、理論的にその有効性、適用範囲を明らかにするとともに、新しいATMスイッチアーキテクチャの標準化提案や大阪大学キャンパスLANへの導入等、その普及にも大きく寄与されてきた。

局所的な性能改善をもたらす制御手法の提案に固執するのではなく、ネットワーク全体を統合的に捉えた研究活動により生み出されてきた一連の研究成果は、欠くべからざる社会インフラとしてのネットワークのあり方を示す極めて重要なものと考えられ、同分野の研究活動に対して多大な影響を与えている。

さらに、博士は電子情報通信学会 会長や情報通信研究機構 理事長として、ネットワーク技術やその応用技術の発展に寄与されており、現在のインターネット技術の普及に大きな貢献をされている。

また、博士は情報処理産業の育成、情報通信分野における先進的な研究開発の推進に尽力され、現在も第一線で国際的に活躍する多数の研究者の養成、輩出に尽力するとともに、我が国の情報通信ネットワーク整備活動の基礎となる実証実験網の整備、運営、地域社会に根ざした高度ネットワーク利用の普及ならびに人・情報・技術・知識を融合する新たな価値の創出活動にも大きく寄与されている。

これらの功績に対して、これまで博士は総務大臣表彰をはじめ、学会における業績賞、フェロー、功績賞等、数多くの賞を受賞されている。

このように、宮原秀夫博士は、コンピュータネットワークのモデル化及び性能評価をはじめとする基礎研究とその普及、推進において多大な貢献をされてきた。ここに大川賞を贈呈し、その功績を称えるものである。